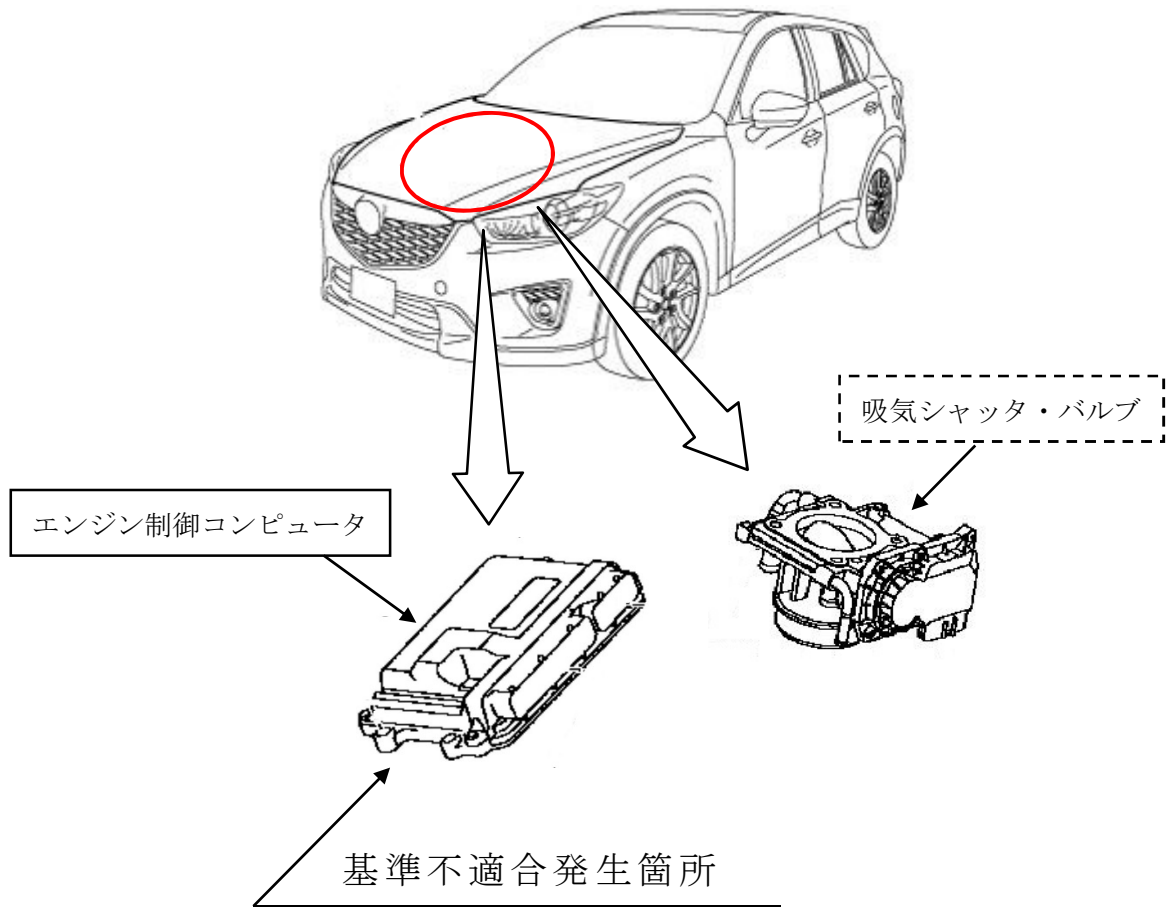


改善箇所説明図-①



エンジンの吸気シャッター・バルブにおいて、制御プログラムが不適切なため、バルブ周辺に付着する煤などにより、バルブ開度が正しく制御されなくなり、エンジン警告灯が点灯した際、フェールセーフが十分に機能せず、バルブが全開しないことがある。そのため、煤などの付着により、バルブが全閉のまま固着した場合、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容
全車両、エンジン制御コンピュータを点検し、吸気シャッター・バルブ用制御プログラムを対策プログラムに修正する。点検の結果、吸気シャッター・バルブに異常がある場合は、吸気シャッター・バルブを新品に交換する。また、プログラム修正後にエンジン警告灯が点灯した場合は、吸気シャッター・バルブを新品に交換する。

識別：エンジン制御コンピュータのブラケットに黄ペンを塗布する。

注) は、対策プログラムに修正する部品を示す。
 は、点検の結果、異常がある場合、及びプログラム修正後にエンジン警告灯が点灯した場合に交換する部品を示す。